

原子力発電所の新規制基準適合性に係る審査会合（第842回）
中国電力株式会社に関する指摘内容

令和2年3月4日
原子力規制庁
新基準適合性審査チーム

【地震による損傷の防止】

(1) 屋外重要土木構造物等の耐震評価における断面選定

- 取水槽の弱軸方向断面について、加振方向と平行に配置される壁（妻壁）の影響範囲を考慮してモデル化する場合、妻壁を含む各部位の耐震評価の考え方を説明すること。また、このモデル化を適用する場合の検証方法について説明すること。
- 取水槽の弱軸方向断面について、先行プラントの審査実績を踏まえて妻壁の拘束効果を期待する場合は、下記事項等に留意してモデル化方針を説明すること。
 - ・ 妻壁から対象とする断面までの距離や妻壁の非線形性の程度に依存して拘束効果が減少すること。
 - ・ 妻壁と接合する部位に応力集中すること。
 - ・ 支持される設備への影響評価及び要求機能に応じた妻壁の耐震性評価が可能であること。
- 屋外配管ダクト（タービン建物～排気筒）が屋外配管ダクト（タービン建物～放水槽）と一体化している範囲について、先行審査実績のない特徴（上位クラス施設が下位クラス施設に支持されていること、交差部に立体的な荷重が作用すると想定されること等）から、モデル化を含めた耐震評価の考え方を説明すること。

(2) 土木構造物の解析手法及び解析モデルの精緻化

- ・ 特になし

(3) 後施工せん断補強筋による耐震補強

- ・ 特になし

以上